

ブエノスアイレス発着  
トランスファー・パッケージ  
適用コース(有料)

フォークランド諸島やサウスジョージア島、さらに南極圏を巡る感動の南極クルーズ

# フォークランド諸島と サウスジョージア島、南極圏・南極クルーズ 23日間

フォークランド諸島やサウスジョージア島、さらに世界でもごく僅かの方しか経験したことのない南極圏まで、南極の広範囲を徹底的に巡り、多種多様な野生生物たちとの出会いや感動壮大な美しい大自然など南極の魅力をお楽しみいただけます。さらにアドベンチャー・オプション「カヤック」などで南極の風景や野生生物の活動をより身近に感じていただくことができます。

## 南極クルーズハイライト

- 「南極のガラパゴス」と呼ばれるサウスジョージア島を訪れ、多くの野生生物との出会いを楽しめます。
- アーネスト・シャクルトンの墓地など偉大な探検家の足跡を訪ねます。
- 南緯66度33分を越えて、さらに南の雄大なスケールの南極圏を満喫します。
- 上陸観光やゾディアック・クルージングで7つ目の大陸・南極の魅力を堪能します。

● 旅行開始日&終了日・期間・利用客船

旅行開始日～終了日	期間	利用客船
2016年12月30日(金)～1月21日(土)	23日間	オーシャン・エンデバー

- 乗船地/下船地：アルゼンチンのブエノスアイレス
- 宿泊ホテル：ブエノスアイレス/NHシティホテル
- 食事条件：朝食22回、昼食20回、夕食21回

● クルーズ代金(大人/お一人様)  
※クルーズ代金はウシュアイア港発着のものです。※単位：米ドル(US\$)

利用客船	オーシャン・エンデバー
旅行開始日	12月30日(金)
旅行終了日	1月21日(土)
期間	23日間
客室タイプ	
トリプル(内側)	13,995
ツイン(丸窓)	20,695
ツイン(角窓)	21,595
ツイン(丸窓)プラス1&2	23,995
★アパー・デッキ・ツイン	25,795
スーパーリア・ツイン	26,495
◆トップ・デッキ・ツイン	27,695
ツイン(角窓)プラス1&2	28,295
ジュニア・スイート	29,995
オーナーズ・スイート	31,795
シングル(内側)	20,695
トランスファー・パッケージ	800
アドベンチャー・オプション	K/SU/P

(備考1) オーシャン・エンデバーの「★◆印の客室タイプ」は、救命艇及び船体構造によって窓からの視界が遮られています。

(備考2) プラス1とプラス2については：プラス1の客室には、シャワールームが1ヶ所、プラス2の客室には、シャワールームが2ヶ所備わっています。

(備考3) トランスファー・パッケージはクルーズ代金には含まれておりません。別途お支払いいただけます。

(備考4) トランスファー・パッケージは、オーシャン・エンデバーを利用する南極クルーズにご参加のお客様のみご利用いただけます。

● アドベンチャー・オプション記号説明  
K = カヤック SU = スタンドアップ・パドルボード P = 写真教室

## ブエノスアイレス発着トランスファー・パッケージ(お一人様/US\$ 800)

- トランスファー・パッケージには、以下のものが含まれています。
- 1日目、ブエノスアイレスでの宿泊代(朝食付き)
  - 2日目、ブエノスアイレスでの宿泊ホテルからエセイサ空港までの送迎
  - 2日目と23日目、ブエノスアイレス/ウシュアイア間のチャーター機
  - 2日目、ウシュアイア空港から港まで送迎
  - 23日目、下船後の短時間のフエゴ島観光と空港への送迎
- 注/※チャーター機の手荷物許容量は、「機内預けの荷物:20kg、手荷物:5kg」です。  
※トランスファー・パッケージは、定員に限りがありますので、オーシャン・エンデバーの南極クルーズをご予約の際、合わせてご予約ください。

## スケジュール

日	月日(曜)	日程	食事 朝食 昼食 夕食	宿泊
1	12/30(金)	午後 アルゼンチンのブエノスアイレス到着後、クオーク社指定のホテルに宿泊		ブエノスアイレス
2	12/31(土)	朝 ホテルから空港へ送迎 午前 チャーター機にてウシュアイアへ 午後 ウシュアイア到着後、乗船手続 夕方 ウシュアイアから南極クルーズに出港	H O	船中
3	1/1(日)	終日 南大西洋クルーズ	O O O	船中
4	1/2(月)	終日 フォークランド諸島観光	O O O	船中
5	1/3(火)	終日 フォークランド諸島観光	O O O	船中
6	1/4(水)	終日 南極海クルーズ	O O O	船中
7	1/5(木)	終日 南極海クルーズ	O O O	船中
8	1/6(金)	終日 サウスジョージア島観光	O O O	船中
9	1/7(土)	終日 サウスジョージア島観光	O O O	船中
10	1/8(日)	終日 サウスジョージア島観光	O O O	船中
11	1/9(月)	終日 サウスジョージア島観光	O O O	船中
12	1/10(火)	終日 南極海クルーズ	O O O	船中
13	1/11(水)	終日 南極海クルーズ	O O O	船中
14	1/12(木)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O O O	船中
15	1/13(金)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O O O	船中
16	1/14(土)	終日 サウスシェトランド諸島と南極半島観光	O O O	船中
17	1/15(日)	終日 南極圏観光	O O O	船中
18	1/16(月)	終日 南極圏観光	O O O	船中
19	1/17(火)	終日 南極半島に沿って北上しながら観光	O O O	船中
20	1/18(水)	終日 南極半島に沿って北上しながら観光	O O O	船中
21	1/19(木)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O O O	船中
22	1/20(金)	終日 ドレーク海峡横断クルーズ	O O O	船中
23	1/21(土)	午前 ウシュアイア入港/下船 午後 下船後、短時間のフエゴ島国立公園観光 午後 チャーター機にて、ブエノスアイレスへ 夕方 ブエノスアイレス着後、解散	O	船中泊

(注1) 上記日程は、「ブエノスアイレス発着トランスファー・パッケージ」を利用した場合の内容で表示しています。

(注2) 上記スケジュール中、食事欄の「O」は船内食、「H」はホテルでの食事を表します。



## ● 詳細日程 (ブエノスアイレス発着トランスファー・パッケージを利用した場合の内容で表示しています。)

- 第1日目 アルゼンチンのブエノスアイレス到着**  
ブエノスアイレスに到着後、お客様ご自身にてクオーク社指定のホテルへ移動。ホテルチェックインは、14:00以降となります。午後は、タンゴ発祥の地で美しい街並みが印象的なブエノスアイレス市内の散策などでお楽しみください。 **ブエノスアイレス泊**
- 第2日目 ブエノスアイレス発着/ウシュアイア着/乗船/出港**  
朝食後、クオーク社の団体送迎バスで空港へ移動。チャーター機にて空路、南米最南端のウシュアイアへ向かいます。到着後、時間が許せば、ウシュアイアの町の散策をお楽しみいただけます。 **夕方、ウシュアイアから南極クルーズに出港** **船中泊**
- 第3日目 南大西洋クルーズ**  
航海中も船上では南極に関する様々なレクチャーが予定されています。エクスペディション・チームによる上陸観光やゾディアック・クルージングに際してのガイダンスも予定しています。 **船中泊**
- 第4-5日目 フォークランド諸島観光**  
**フォークランド諸島**では、東フォークランド島と西フォークランド島を訪れます。この2つの大きな島には、**イワトビペンギン、ゼンツーペンギン、マゼランペンギン**や亜南極のみに繁殖する**キングペンギン**、海鳥では**マユグロアホウドリ**、この地域固有種の**フォークランドツグミ**や、飛べない**フォークランドフナガモ**など多種多様な野生生物が生息しています。**上陸観光やゾディアック・クルージング**でこれらの野生生物の観察を予定しています。また、イギリス風の町並みが残る「辺境の町」**スタンリー**にも寄港を予定しています。 **船中泊**
- 第6-7日目 南極海クルーズ**  
南へ針路を進めます。船は生物学的に南極地域に入ったことを示す**南極収束線**を越えて航行します。この海域は、寒冷な南極海流と大西洋・太平洋からくる温暖な海流が混じり合うため非常に肥沃で、世界中の海でも最もクジラやアザラシの観察に適しています。 **船中泊**
- 第8-11日目 サウスジョージア島観光**  
南極地域の中でも**サウスジョージア島**には多種多様な野生生物が生息し「**南極のガラパゴス**」と呼ばれています。海岸線は**10万羽にもおよぶキングペンギン**の一大営巣地になっています。また、**ミナミゾウアザラシ**や**ナンキョクオットセイ**も数多く生息しています。  
サウスジョージア島は、長い間、南極探検や入植の要衝の島でした。当時の開拓者たちは、捕鯨やアザラシ猟で生計を立てていました。一度は絶滅しかけたこれらの生物たちも今は、昔の個体数に戻りつつあります。  
**グリトヴィケン**の集落には、南極探検中に非業の死を遂げた偉大な探検家**アーネスト・シャクルトン**が眠る**墓地**があります。現在、ここには、かつての捕鯨基地や博物館、土産物屋、教会、研究所があり、20名ほどの住民と科学者、助手たちが暮らしています。ここでは、**捕鯨基地跡や入植の前線基地跡**などを見学する予定です。 **船中泊**
- 第12-13日目 南極海クルーズ**  
キングペンギンに別れを告げ、南極大陸を目指します。条件が整えばこの行程でサウスオークニー諸島を訪れることもあります。 **船中泊**
- 第14-16日目 サウスシェトランド島と南極半島観光**  
南極大陸がだんだんと目前に迫ってきます。南極旅行に参加されたお客様は壮大で神秘的な大自然を目の当たりにした時、畏怖の念を抱かれることが少なくないようです。なんとといってもその大部分は太古から人間の手に触れられておらず、独特の空気と時間が流れています。その完璧ともいえるような静けさや、言葉にできない寂寥をご体感ください。氷河が海に崩落する音や、ペンギンがよちよちと足元を歩いてくる音にハッとされることと思います。  
エクスペディション・チームの安全管理と案内のもとで氷上を歩き、ペンギンたちに交わりながら観測基地を訪れます。**ヒゲペンギン、ゼンツーペンギン、アデリーペンギン、ナンキョクオットセイ、ウェッデルアザラシ、カニクイアザラシ、**
- 第17-18日目 南極圏観光**  
この旅では南極大陸への陸だけでなく、**南緯66度33分**を越えて、南極圏を訪れます。**南極圏到達の際には、ジャンパンで乾杯してお祝いしましょう。**最後の原生地とも言える南極圏では真夜中まで煌々と太陽が降り注ぎ、ウェッデルアザラシたちが短い夏を謳歌しています。 **船中泊**
- 第19-20日目 南極半島沿岸を北上しながら観光**  
この行程に差しかかるころには、野生生物の名前や氷の用語にも相当詳しくなっていることでしょう。1日2回の上陸観光やゾディアック・クルージングで野生生物の観察や雄大な氷河の景色などをお楽しみください。 **船中泊**
- 第21-22日目 ドレーク海峡横断クルーズ**  
エクスペディション・チームは船内イベントや様々なプレゼンテーション、皆様を訪れた南極のポイントや野生生物のスライドショーを準備し、この南極クルーズを振り返る予定です。 **船中泊**
- 第23日目 ウシュアイア入港/下船/フエゴ島国立公園観光/ウシュアイア発着/ブエノスアイレス着、解散**  
朝食後、ウシュアイアに入港。下船後、**出発までの短時間、フエゴ島国立公園の観光**にご案内いたします。終了後、ウシュアイア空港に移動。チャーター機にて空路ブエノスアイレスへ向かいます。**ブエノスアイレス(エセイサ空港)に到着後、解散。**

## ● その他の主なみどころ

<b>フォークランド諸島</b>	カルカス島/ニューアイランド/ウエストポイント島	<b>サウスシェトランド諸島</b>	アイチョ島/ハーフムーン島/ハンナ・ポイント/ペンギン島/ロバート島/タレット・ポイント/ヤンキー・ハーバー/デセプション島
<b>サウスジョージア島</b>	ドリガルスキー・フィヨルド/ゴールド・ハーバー/プリオン島/ソールズベリー平原/セント・アンドリュース・ベイ/ストロムネス	<b>南極半島</b>	クーバービル島/ダンコ島/エンタープライズ島/ルメール海峡/ノイマイヤー海峡/メルチオール諸島/ネコハーバー/ピーターマン島/フレノウ島/ポートロックロイ/バラダイス湾/オルネ湾/ダモイポイント/ウォーターポートポイント

※主な見どころは一例です。すべては一度の航海で訪れるわけではありません。気象、海象、氷などの厳しい自然環境下で上陸場所が変更になる場合がありますので予めご了承ください。